

# 鉱物資源開発の推進のための探査等事業委託費

## 令和4年度概算要求額 22.3億円（18.7億円）

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- 近年、国内外での自動車の電動化や省エネ・再エネ機器の普及・拡大により、その製造に必要不可欠な銅、コバルト、リチウム、レアアース等の鉱物資源の需要増加が見込まれる一方、新興国の需要拡大による資源国への進出が活発化し、資源獲得競争は年々激化しています。
- このため、令和4年度は、資源国における資源探査や資源国との関係強化策等に加え、国内陸域での広域調査や二次原料の確保・有効利用調査を実施します。
- 資源探査において有望な調査結果が得られた場合には、資源開発の権利等を我が国企業に引き継ぐことによって、鉱物資源の供給源の多角化を図り、安定供給を確保します。

#### 成果目標

- 鉱物資源（ベースメタル）の自給率（金属需要に占める自主開発鉱石とリサイクル原料の割合。平成30年度は50%）を令和12年に80%以上に引き上げることを目指します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### 次世代自動車・再エネ機器等の製造に不可欠な鉱物資源



銅、シリコン、  
ガリウム

コバルト、  
リチウム

白金族、鉛

レアアース  
(ネオジム、ジスプロシウム、  
テルビウム等)、銅

#### 鉱物資源の資源調査

##### 有望地域の抽出

- 人工衛星データ解析による調査
- 有望地の情報収集・解析・評価
- 資源国地質調査機関等との事前調査、協議・契約 等

##### 資源探査の実施

- 地質調査、地化学調査、物理探査、ボーリング調査等の実施



##### 探鉱技術・環境保全技術等移転

- 我が国が培ってきた資源開発に係る環境面での対策、人工衛星データ解析技術等の技術移転を図ることで資源国との関係強化を図る